



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月10日

上場会社名 株式会社新潟放送 上場取引所 東  
 コード番号 9408 URL <https://www.ohbsn.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 隆夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 宮腰 尊史 TEL 025-267-4111  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	15,672	7.4	1,036	△4.1	1,192	1.4	642	△22.6
2022年3月期第3四半期	14,588	9.8	1,081	111.7	1,176	106.6	829	107.5

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 731百万円 (△93.1%) 2022年3月期第3四半期 785百万円 (21.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	107.04	—
2022年3月期第3四半期	138.23	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	26,244	21,073	70.2	3,070.68
2022年3月期	26,295	20,274	67.7	2,966.94

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 18,420百万円 2022年3月期 17,798百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2023年3月期	—	5.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2023年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当3円75銭 記念配当1円25銭

2023年3月期期末配当金の内訳（予想） 普通配当3円75銭 記念配当1円25銭

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,916	8.9	1,492	11.2	1,678	16.4	780	△4.7	130.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 -社（社名）-、 除外 -社（社名）-

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期3Q	6,000,000株	2022年3月期	6,000,000株
2023年3月期3Q	1,102株	2022年3月期	1,102株
2023年3月期3Q	5,998,898株	2022年3月期3Q	5,998,898株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(参考) 2023年3月期の個別業績予想 (2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,715	△1.0	379	△1.5	219	△38.4	36.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

\* 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(連結の範囲又は持分適用の範囲の変更) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(会計上の見積りの変更) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9
3. その他 .....	10
継続企業の前提に関する重要事象等 .....	10
4. (参考) 個別業績の概要 .....	10
(1) 個別経営成績 .....	10
(2) 個別財政状態 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、感染抑制と社会経済活動の両立に向けた対策により、各種行動制限が緩和され、国内景気は持ち直しの動きがみられました。しかしながら、原材料やエネルギー価格の高騰、円安による物価上昇が続く中、依然として先行き不透明な経済環境が続いております。

このような状況のなかで、それぞれ異なる分野で事業活動を展開する当社グループは、感染防止に努めながら各事業部門において積極的な営業活動とサービスの提供に努めました。その結果、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は156億7千2百万円（前年同期比107.4%）となりました。

また、利益面におきましては、営業利益は10億3千6百万円（前年同期比95.9%）、経常利益は11億9千2百万円（前年同期比101.4%）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億4千2百万円（前年同期比77.4%）となりました。

事業の部門別の概況は次のとおりであります。

#### 〔放送事業〕

放送事業におきましては、ラジオ部門で、新規スポンサー獲得に力を入れ、スポット広告が好調に推移しました。テレビ部門は、経済情勢の不安定化によるスポット広告の落ち込みがありましたが、タイム収入が好調でした。放送収入全体としては、前期並みの売上となりました。その他の収入においては、感染症対策によるイベント入場制限が徐々に緩和される中、プロ野球公式戦、コンサートなど開局70周年記念事業を展開したことで、前期の収入を上回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は44億9百万円（前年同期比102.2%）、営業利益では2億2千9百万円（前年同期比110.1%）となりました。

#### 〔システム関連事業〕

システム関連事業におきましては、公共案件や首都圏開発などが順調に推移しました。また、第2四半期連結累計期間より、重要な子会社として、システム関連事業に1社追加となった事で売上高は増収となりました。利益面では、前期にあった利益率の高い大型案件を補えなかった事や、新型コロナウイルス感染状況の落ち着きに伴いWeb提案だけでなく、リアルでのフェア開催などハイブリッドによる積極的な営業活動が行われた事により経費も増加し、減益となりました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は104億3千7百万円（前年同期109.5%）、営業利益は7億3千3百万円（前年同期比89.6%）となりました。

#### 〔建物サービスその他事業〕

建物サービスその他事業におきましては、不動産収入で、新たに取得した物件により増収となりました。施設管理部門では、病院やオフィスビルの設備管理業務を新規に受託したことや、管理受託先の空調設備工事、外壁修繕工事、防災盤修繕工事など大型案件を受注して増収となりました。利益面では、工事資材の高騰による仕入原価の増加や、管理受託先の増加による人件費などの増加はありましたが、効率良く業務を行うことでコストの削減を図り利益確保に努めました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は12億5千3百万円（前年同期比109.3%）、営業利益では5千9百万円（前年同期比111.5%）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

#### （財政状態の分析）

当第3四半期連結会計期間末の総資産は262億4千4百万円となり、前連結会計年度末と比較して5千1百万円減少いたしました。

資産の部では、流動資産が133億6千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億9千5百万円減少しております。これは主に棚卸資産が7億6千7百万円、その他の流動資産が2億9千2百万円増加したものの、現金及び預金が8億7千4百万円、受取手形及び売掛金及び契約資産が3億8千2百万円減少したことなどによります。固定資産は、128億7千9百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億4千4百万円の増加となりました。これは無形固定資産が4千9百万円、投資その他の資産が8千万円減少したものの、有形固定資産が2億7千4百万円増加したことによります。

負債の部では、流動負債が40億7千6百万円となり、前連結会計年度末に比べて8億5千万円減少しております。これは主に未払金が3億7千1百万円、リース債務が4千7百万円、未払法人税等が7千4百万円、未払消費税等が4千3百万円、賞与引当金が6千7百万円、役員賞与引当金が2千1百万円、その他の引当金が3千5百万円、その他の流動負債が1億9千6百万円減少したことなどによるものであります。固定負債は10億9千4百万円となり、前連結会計年度末とほぼ同額となりました。主な増減は長期借入金が1億4千5百万円、役員退職慰労引当金が2千2百万円、退職給付に係る負債が5千8百万円の増加、リース債務が1億7千8百万円、繰延税金負債が4千9百万円減少しております。

純資産の部では、その他有価証券評価差額金は8千3百万円の減少となったものの、利益剰余金7億2千3百万円、非支配株主持分の増加1億7千7百万円などにより210億7千3百万円となり、前連結会計年度末に比べて7億9千9百万円増加いたしました。以上の結果、自己資本比率は70.2%となり、前連結会計年度末に比べて2.5ポイントの増加となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、2022年5月12日に公表いたしました2023年3月期通期の連結業績予想、個別業績予想ともに数値を修正しております。詳細につきましては、本日（2023年2月10日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,628,973	7,754,647
受取手形、売掛金及び契約資産	3,723,840	3,340,946
商品	157,962	621,402
原材料	15,208	22,744
仕掛品	254,553	551,051
その他の流動資産	787,061	1,079,808
貸倒引当金	△6,328	△5,140
流動資産合計	13,561,271	13,365,461
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,462,566	2,826,579
機械装置及び運搬具（純額）	607,653	794,295
土地	2,442,652	2,527,699
リース資産（純額）	846,578	659,047
その他（純額）	291,263	117,903
有形固定資産合計	6,650,715	6,925,526
無形固定資産		
投資その他の資産	389,960	340,297
投資有価証券	3,201,671	3,088,079
退職給付に係る資産	1,920,460	1,922,347
その他の投資及びその他の資産	597,757	629,075
貸倒引当金	△25,864	△25,864
投資その他の資産合計	5,694,025	5,613,637
固定資産合計	12,734,701	12,879,461
資産合計	26,295,972	26,244,922

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	2,671,214	2,300,074
短期借入金	360,800	367,000
リース債務	401,078	353,422
未払法人税等	336,859	262,653
未払消費税等	155,609	112,109
賞与引当金	338,036	270,439
役員賞与引当金	21,500	—
その他の引当金	51,025	16,000
その他の流動負債	591,013	394,631
流動負債合計	4,927,136	4,076,329
固定負債		
長期借入金	3,100	148,750
役員退職慰労引当金	94,318	117,129
退職給付に係る負債	184,510	243,389
リース債務	685,247	507,019
繰延税金負債	98,345	49,327
その他の固定負債	29,159	29,046
固定負債合計	1,094,680	1,094,661
負債合計	6,021,816	5,170,991
純資産の部		
株主資本		
資本金	300,000	300,000
資本剰余金	5,750	5,750
利益剰余金	17,182,696	17,906,306
自己株式	△805	△805
株主資本合計	17,487,642	18,211,251
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	244,209	161,009
退職給付に係る調整累計額	66,507	48,423
その他の包括利益累計額合計	310,717	209,432
非支配株主持分	2,475,795	2,653,247
純資産合計	20,274,155	21,073,931
負債純資産合計	26,295,972	26,244,922

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	14,588,513	15,672,630
売上原価	10,163,910	11,148,733
売上総利益	4,424,602	4,523,897
販売費及び一般管理費	3,343,517	3,487,339
営業利益	1,081,085	1,036,558
営業外収益		
受取利息	5,409	6,111
受取配当金	70,136	121,555
受取賃貸料	6,408	7,206
有価証券売却益	163	189
その他	23,070	28,663
営業外収益合計	105,188	163,726
営業外費用		
支払利息	8,157	7,560
その他	2,010	18
営業外費用合計	10,167	7,578
経常利益	1,176,106	1,192,706
特別利益		
固定資産売却益	0	17
投資有価証券売却益	260,000	3,586
特別利益合計	260,000	3,604
特別損失		
固定資産除却損	38,616	38,562
固定資産売却損	—	910
投資有価証券売却損	—	600
投資有価証券評価損	1,893	1,863
特別損失合計	40,509	41,937
税金等調整前四半期純利益	1,395,597	1,154,373
法人税等	369,967	322,233
四半期純利益	1,025,629	832,140
非支配株主に帰属する四半期純利益	196,380	190,032
親会社株主に帰属する四半期純利益	829,248	642,107

（四半期連結包括利益計算書）  
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）
四半期純利益	1,025,629	832,140
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△221,729	△83,026
退職給付に係る調整額	△18,516	△18,083
その他の包括利益合計	△240,245	△101,110
四半期包括利益	785,384	731,029
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	589,036	540,823
非支配株主に係る四半期包括利益	196,347	190,206

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（連結の範囲又は持分適用の範囲の変更）

（連結の範囲の重要な変更）

第2四半期連結会計期間より、非連結子会社としていた株式会社エム・エス・シーは、重要性が増したため同社を連結の範囲に含めております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

（会計上の見積りの変更）

該当事項はありません。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症の影響について）

前連結会計年度末に仮定した新型コロナウイルス感染症の影響については、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	放送事業	システム関連 事業	建物サービ スその他事 業	計		
売上高						
一時点で移転される財又はサービス	4,224,603	5,692,153	692,955	10,609,712	—	10,609,712
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	32,709	3,796,638	149,452	3,978,800	—	3,978,800
顧客との契約から生じる収益	4,257,312	9,488,792	842,407	14,588,513	—	14,588,513
(1) 外部顧客に対する売上高	4,257,312	9,488,792	842,407	14,588,513	—	14,588,513
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	56,951	43,112	303,744	403,809	△403,809	—
計	4,314,264	9,531,905	1,146,152	14,992,322	△403,809	14,588,513
セグメント利益	208,150	818,579	53,827	1,080,556	528	1,081,085

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	放送事業	システム関連 事業	建物サービ スその他事 業	計		
売上高						
一時点で移転される財又はサービス	4,326,853	5,164,635	700,108	10,191,597	—	10,191,597
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	32,733	5,216,861	231,438	5,481,033	—	5,481,033
顧客との契約から生じる収益	4,359,586	10,381,496	931,547	15,672,630	—	15,672,630
(1) 外部顧客に対する売上高	4,359,586	10,381,496	931,547	15,672,630	—	15,672,630
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	49,461	55,942	321,630	427,033	△427,033	—
計	4,409,048	10,437,438	1,253,177	16,099,664	△427,033	15,672,630
セグメント利益	229,087	733,379	59,996	1,022,463	14,094	1,036,558

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 前連結会計年度末より従来の「情報処理サービス事業」から「システム関連事業」へセグメントの名称を変更しております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## 3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## （参考）個別業績の概要

## （1） 個別経営成績

2023年3月期第3四半期の業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	4,409	2.2	229	10.1	397	25.8	306	△32.3
2022年3月期第3四半期	4,314	8.9	208	123.1	315	95.0	453	90.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	51.18	—
2022年3月期第3四半期	75.54	—

## （2） 個別財政状態

	総資産	純資産
	百万円	百万円
2023年3月期第3四半期	13,816	12,554
2022年3月期	13,942	12,391